

# 昭和小まなび通信



～ 学校・家庭・地域で はぐくむ昭和の子どもの夢・未来 ～  
「研究推進」編

H23.11.10

## 「質の高い学力」の定着を目指す！

～ 3つの視点（授業改善・学級経営・基礎学力充実）からのアプローチ ～

一人一人の児童に確かな「質の高い学力」を身に付けさせることを目指し、研究を進めています。

授業改善、学級経営、基礎学力の充実を図ることにより、成果を確認しながら取組を進めています。



### 授業スタイル

～ 算数科の学習において～

#### 1 習った内容の確認

- ・ 前の時間までに学習したことを確認します。

#### 2 課題の設定 「めあて」の提示

- ・ 1時間の学習の「めあて」を知り、解決の見通しを持ちます。

#### 3 自力解決

- ・ まず、一人一人が解決方法を考え、ノート等にまとめます。

#### 4 グループ学習

- ・ 自分の考えをさらに深めるため、話しやすい小グループで意見交流します。

#### 5 集団解決

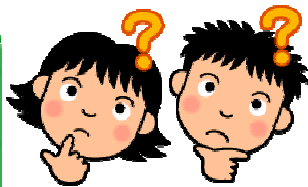
- ・ 一人一人の考えを伝え合い、解決方法を練り合います。
- ・ 「付け加え」「別の考え」などを出し合うことで、より簡単・より正確な解決方法をまとめます。

#### 6 自力解決

- ・ 解決方法を確認し、一人一人が習熟を図ります。（練習問題等）

#### 7 まとめ、ふり返り

- ・ 自分のがんばり、友だちの良さ、新たな発見等を振り返ります。



研究を進める上で大切にしていきたいこと！

### 「特別支援教育」の視点から！



個別指導の場

一人一人の違いを認識しつつ、全ての子どもが活躍できるように、本人の主体性を尊重しながらできる援助をしていきます。



やり方がわかる手立ての工夫

### 「学級経営」を いかに！



認め合える関係づくり！

「認め合える関係づくり」「落ち着いて過ごせる教室づくり」が、授業中の学習意欲に影響します。

### 基礎学力定着を！

確かめ問題などによって、一人一人の定着を確認します。



全ての子に確かな学力を！

### 「言葉の力」を 大切に活動！

書くことで考えを整理したり、友達と自分の考えを比較（共通点・相違点）して発言したりしながら、ねらいに迫ります。



根拠を明らかにして筋道たてて説明する力を！